



「医療安全推進体制に係る外部調査委員会」による 調査結果報告書について

当機構が令和5年9月29日に記者発表し、設置した「医療安全推進体制に係る外部調査委員会」について、当委員会において調査・検証が行われ、報告書が取りまとめられましたので、お知らせします。

1 設置経緯

当委員会は、令和3年10月にこども医療センターにおいて発生した患者死亡事故を契機に、医療安全推進体制や医療事故等発生後の対応等について、専門的な知見に基づいた課題や改善策等を諮問し、調査結果を受けて行動計画の策定、運営体制の見直しを図り、患者さんや患者家族の目線に立った良質で安全な医療を提供することを目的として設置されました。

2 検証項目及び検証方法

(1) 検証項目

以下の5項目について、こども医療センター及び病院機構本部・他の県立4病院を対象に検証を行いました。

- ①患者安全確保における基盤整備体制について
- ②日々の患者安全活動について
- ③日常の質管理・医療事故未然防止について
- ④重大事故発生時の対応について
- ⑤重大事故の共有・公開体制について

(2) 検証方法

機構5病院医療安全関係職員等及びご遺族を対象にヒアリングし、こども医療センターの入院・外来の患者・家族、退職職員を対象にアンケート調査を行いました。

<ヒアリングについて>

- ・対象者：22名

<アンケート調査について>

◆調査期間及び対象者

- 患者・家族向け（入院・外来）

- ・調査期間：令和6年1月11日～19日

- ・対象者：1,500名（こども医療センターにおいて過去5年以内に入院経験のある患者・家族及び外来通院中の患者・家族）

- こども医療センター退職職員向け

- ・調査期間：令和6年1月11日～19日

- ・対象者：104名（令和4年度の退職職員）

◆回答者数

- ・入院：143名
- ・外来：340名
- ・退職職員：33名

3 開催状況

	開催日		開催日
第1回	令和5年10月4日	第6回	令和5年12月20日
第2回	令和5年10月18日	第7回	令和6年1月10日
第3回	令和5年11月7日	第8回	令和6年1月25日
第4回	令和5年11月22日	第9回	令和6年2月6日
現地調査	令和5年12月1日	第10回	令和6年2月16日
第5回	令和5年12月5日	第11回	令和6年2月27日

4 検証結果

別紙のとおり

5 委員一覧

	氏名	所属	分野
委員長	長尾 能雅	名古屋大学附属病院副院長 患者安全推進部教授	患者安全専門家 (医師)
副委員長	隈本 邦彦	江戸川大学メディアコミュニケーション学部特任教授	学識経験者
委員	加藤 節子	公益社団法人神奈川県看護協会 危機管理課長	医療安全専門家 (看護師)
委員	高井佳江子	高井佳江子法律事務所	弁護士
委員	馬上 祐子	小児脳腫瘍の会代表	患者の立場
委員	山口 重則	地方独立行政法人静岡県立病院 機構副理事長兼本部事務部長	地方独立行政法人 関係者

6 今後の対応

当機構は、本調査結果報告書の提言を受けて、アクションプランを策定し、患者さんや患者家族の「当事者目線」に立って、職員の意識改革に取り組むとともに、医療安全推進体制の徹底した見直しを図ります。

(問合せ先)

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

本部事務局長 遠藤 電話 045-651-1227 (直通)